

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	通年雇用助成金			担当部局庁	職業安定局	作成責任者			
事業開始年度	昭和43年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域雇用対策課	地域雇用対策課長 笠置 隆範			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号、雇用保険法施行規則第113条及び第114条、雇用保険法施行規則附則第16条及び第17条			関係する計画、通知等	「季節的受給者通年雇用奨励金の支給について」(昭和43年6月19日付け職発第326号)				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	北海道、東北地方等の気象条件の厳しい積雪寒冷地においては、冬期間に離職を余儀なくされる季節労働者が多数にのぼっており、これらの季節労働者の通年雇用を促進し、その雇用の安定を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	北海道、東北地方等の気象条件の厳しい積雪寒冷地(13道県)において、季節的業務に従事する労働者を通年雇用した事業主に対して、対象期間(12月16日～3月15日)に支払った賃金を3年間助成(助成率:1年目2/3、2年目以降1/2)するほか、その雇用する労働者について休業により一時的な雇用調整を行う場合に必要経費の一部(休業助成)、新分野に進出するための施設整備に要した経費の一部(新分野進出助成)又は民間訓練機関等への委託による講習等を受講する上での必要経費の一部(職業訓練助成)について助成し、季節労働者の通年雇用化を促進するものである。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算の状況	当初予算	4,948	5,332	6,085	5,924	5,919		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		4,948	5,332	6,085	5,924	5,919		
	執行額		4,890	5,328	5,328	-			
	執行率(%)		99%	100%	88%	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		99%	100%	88%	-				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	雇用安定等給付金	5,924	5,919	実績を踏まえ適切な水準とする。					
	計	5,924	5,919						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	本助成金の支給を受けた事業所の存在する地域内の特例被保険者数の減少率(対前年)以上	本助成金の支給を受けた事業所の特例被保険者数の減少率(対前年)	成果実績	%	16	22.8	28	-	-
			目標値	%	8.3	13.2	16.2	-	-
			達成度	%	192.8	172.7	172.8	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省職業安定局調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	本助成金の支給を受けた事業所の存在する地域全体の一般被保険者数の増加率(対前年)以上	本助成金の支給を受けた事業所の一般被保険者数の増加率(対前年)	成果実績	%	22.9	13.1	5.3	-	-
			目標値	%	1.7	2.1	2.3	-	-
			達成度	%	1,347.1	623.8	230.4	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	厚生労働省職業安定局調べ								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
		活動実績	当初見込み							
本助成金の支給人数		活動実績	人		10,262	11,054	11,183	-	-	
		当初見込み	人		10,704	11,440	12,915	12,342	-	
単位当たり コスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
		X: 執行額(円) / Y: 支給人数(人)						単位当たり コスト	円	476,532.9
				計算式	X/Y	4,890,180,266 / 102,626人	5,328,055,140円 / 11,054人	5,327,739,695円 / 11,183人	5,923,811,000円 / 12,342人	
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	雇用機会を創出するとともに雇用の安定を図ること(IV-2)							
		施策	地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出及び雇用の安定を図ること(IV-2-1)							
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
本助成金により、季節的業務に就く者(季節労働者)の通年雇用が促進されることから、施策目標の達成に寄与するものと考えられる。										
アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
成果実績		-	-	-	-	-	-	-		
目標値		-	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-	-			

事業所管部局による点検・改善

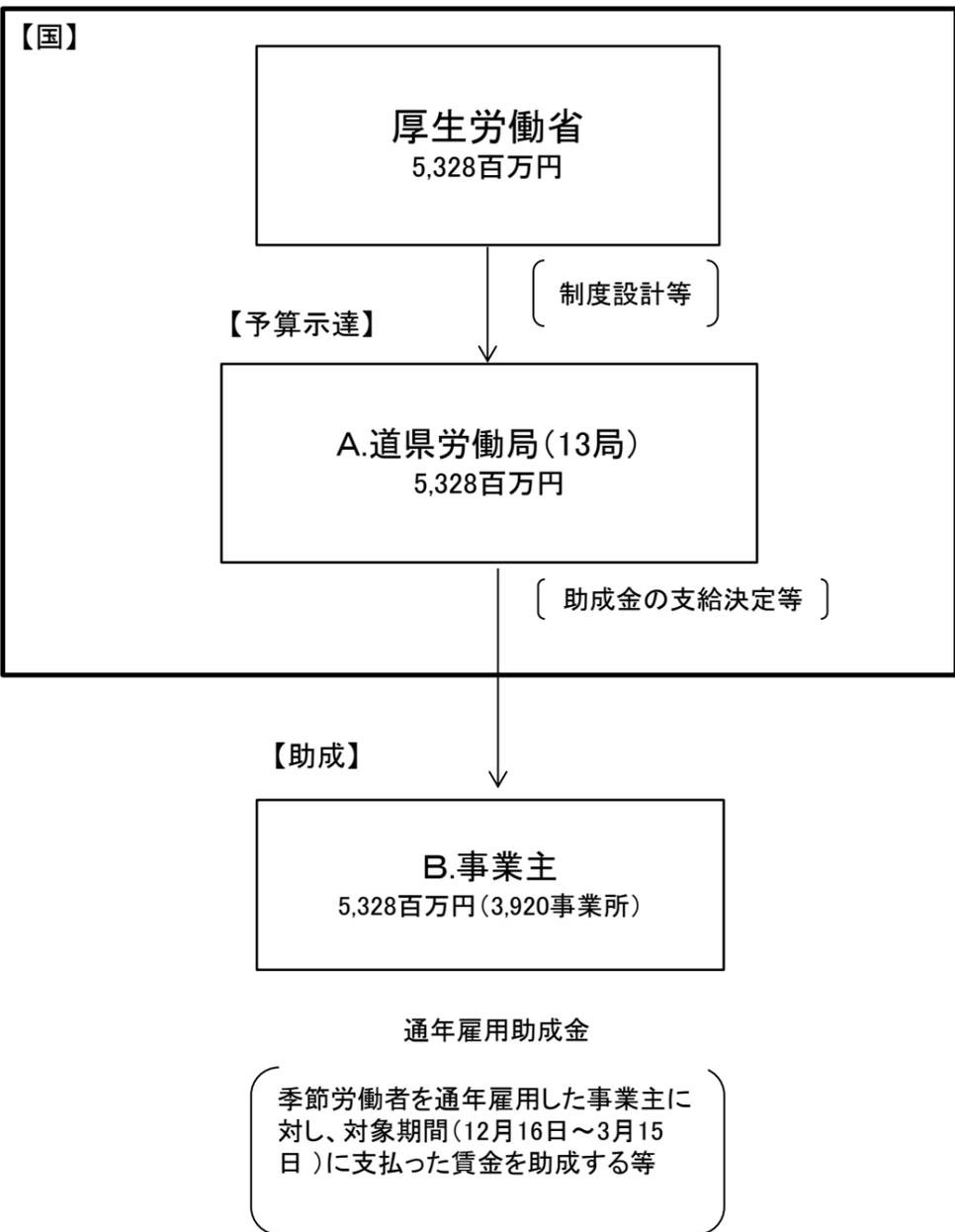
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	北海道、東北地方等の積雪寒冷地(13道県)において、冬期の離職を余儀なくされる季節労働者の通年雇用化を支援する事業であり、国費を投入して取り組む必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	季節労働者(特例一時金受給者)の通年雇用化を図るため、地域雇用対策として国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	成果実績は雇用保険二事業における指標と位置づけられており、優先度の高い事業となっている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	受益者である事業主の負担を考慮した必要な経費を負担するものであり妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業主の負担を考慮した必要経費の支給となっており、水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	季節労働者の通年雇用化を図った事業主に対して、対象期間に支払った賃金等の一部を助成するものであり、費目・使途は適正なものである。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	前年度までの実績を基に予算を積算したものの、執行額が予算額を若干下回った。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の執行状況等を踏まえた予算額となっている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標を上回っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	成果実績から実効性の高い手段となっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	前年度までの実績を基に予算を積算したものの、活動実績(支給人数)が見込みを下回った。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	
	所管府省名	事業番号	事業名
	厚生労働省	0504	季節労働者通年雇用促進等事業費
		本助成金は、季節労働者を通年で雇用した場合等事業主とその費用を助成するもの。他方、季節労働者通年雇用促進等事業費は、季節労働者への職業相談や求人開拓、事業主向けの経営セミナー等ソフト面での支援。それぞれの支援内容について、役割分担を行い、これらの事業の連携により季節労働者の通年雇用化を図っている。	
点検・改善結果	点検結果	本助成金を受けた事業所の常用労働者数の増加率は高い水準で推移したが、活動実績が当初の目標を下回ったため、予算の執行率は低い水準となった。	
	改善の方向性	事業の目標は達成できているが、予算の執行率は低い水準であるため、予算の積算方法を見直しを検討する。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
一部の事業内容改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
縮減	平成30年度概算要求において、直近の活動実績を踏まえ要求額を縮減した。		

備考					

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	709	平成23年度	644	平成24年度	571
平成25年度	486	平成26年度	489	平成27年度	503
平成28年度	502				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位: 百万円)



A.北海道労働局			B.事業主A		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
助成金	事業主に対する助成	4,859	助成金	通年雇用化を図った事業主への助成	20
計		4,859	計		20

費目・用途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と用途
の双方で実情が
分かるように記
載)

